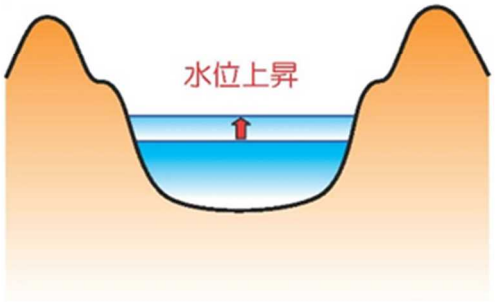
事前放流についてのお知らせ

●**中筋川ダム・横瀬川ダム**では、洪水が予想される場合にダムに貯めている水をあらかじめ流し、洪水調節容量を確保する『事前放流』を行います。

●事前放流を行うと、ダム下流河川の水位が上昇します。
事前放流を行う場合は警報所のスピーカー、情報表示設備（電光掲示板）を使ってお知らせします。
危険ですので、河川内へは立ち入らないようにしてください。

①警報所（スピーカー）

②情報表示設備（電光掲示板）



事前放流について

事前放流の目的

事前放流は、大雨などで洪水の発生が予測される場合、事前にダムの水位を下げ、洪水時の水を貯めることのできる容量を一時的に増加させるものです。

近年の豪雨災害を受け、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限に活用できるよう、全国の一級水系河川で河川管理者、ダム管理者、関係利水者で「治水協定」を締結し洪水被害軽減のため取り組みを強化しています。

事前放流を実施する目安

中筋川ダム、横瀬川ダムでは下記のいずれかの状況が確認される場合に事前放流の実施を検討します。

- 各ダムの上流域の予測降雨量が事前放流実施の目安として定めた基準降雨量を超える予測となったとき。
- 台風の５日間の予測進路が四国地方に接近する予測となった場合。

予測に基づく事前放流の実施は３日～５日間程度です。

事前放流で確保する容量

中筋川ダム、横瀬川ダムの事前放流は、ダムの水位が通常時の満水の高さまであった場合、以下の容量を確保することを目標に行います。

- 中筋川ダム　１，１３０，０００m^3
- 横瀬川ダム　　２２０，０００m^3

【問合せ先】
国土交通省　渡川ダム統合管理事務所　管理課
電話　０８８０－６６－２５０１